



hida

広 報

ひだ

町 花



第 2 号

肥 田 町
郷づくり委員会
H8. 8. 1 発行

明るい肥田の郷づくりは

「あいさつ」を

交わすことから

教養・文化事業部長 成宮 伊蔵

より明るく心のふれあう、住みよい肥田町にするために、町内の大人も子供も、時や場に応じて、「あいさつ」を交わすことにとめたいと思います。大人も子供もあいさつを交わすことによって、心の窓が開かれ、さわやかな心のふれあいが出てきます。

常用漢字として今は使われなくなった「挨拶」の二文字は、おす、おしひらく、せまるという意味をもっています。このように漢字の意味からも、声をかけることによって自分の心の窓を開け、相手にせまり、互いに心のふれあいが生ずることになります。率直に言って、肥田町の現実を見る時、お互いに反省する必要があるのではないのでしょうか。自分の殻に閉じこもり、あいさつが交わせないのでは、本当にお互い社会人として、孤独で寂しいことだと思います。

今回、夏休みを契機として、「挨拶運動（オアシス運動）」を展開したいと思っていますので、町内のみなさんには、この

趣旨をご諒解いただき、ぜひ実践へのご協力を切望いたします。大人から子どもへのかけ声により、漸次子どもから大人へもなされると思います。

既に各ご家庭に配布されました「あいさつ運動実施宣言」の実践にお取り組みをいただいていると思いますが、「あいさつ」を拡大して、「オアシス運動」と名付けたいと思います。

◆オアシス運動

○オII（オハヨウゴザイマス。オヤスミナサイ。オカエリナサイ。オツカレサマ。等）

○AII（アリガトウ）

○シII（シツレイシマス）

○スII（スミマセン）

（註）オアシス・・・砂漠の中で水が湧き、木陰があつて、唯一の憩いの場所。（心やすらぎ、なごみ、あいさつ運動にマッチしている。）

なお日常生活に於いて習慣化したいものに、脱いだ履物を正しくそろえることです。次ぎに履く人のためにも、ぜひ、めいめいが習慣づけたいものです。公民館のトイレのスリッパが整然とそろえられているのは、美しいことです。

教養文化事業部計画

1. あいさつ運動（オアシス運動）の推進

○町内全員の日常化

2. 公民館活動の拡充展開

○各組織団体による活動の推進

3. 町文化祭の充実

○広範囲にわたる出品展示

4. 文化講演会

○年一―二回の開催

5. 良習慣の形成確立

○そろえよう運動

（活動）

ラジオ体操・「あいさつ運動」

子ども達の元気な夏休みラジオ体操が続けられている。郷づくり委員も、当番制で参加し子どもたちとの「あいさつ」運動のススメにとめているカンガルーの幼児も、お母さんと参加し、あいさつ努力賞のシールをもらっている。



―元気いっぱいラジオ体操―

公民館活動・子供習字教室の開催
夏休みを利用して小学生を対象に、硬筆書写の練習会が開催されている。

7月：25日・30日

8月：1日・6日・13日・20日・23日

29日（午前10時～11時30分）

環境事業部計画

1. 裏川に常時水を流す

農業用水の必要な期間は、牛ヶ瀬ポンプ場の運転及び梅雨期の水量で賄う。

その他の期間は、既設ポンプの稼働と大津井川、二又に手動式開閉機を設置して、水量の調整を行い、年間裏川に水を流す。

将来的には、市とも協議して裏川の勾配を見直しすると共に、川幅を縮小すること、併せて数箇所、川幅をそのままにして川底を深くし、水性植物の植栽や魚の放流を考える。

2. 花のある郷づくりとロマン遊歩道

イ、宇曾川堤防の薩摩幸男氏地先から桜公園までの区間を重点地区とする。この間の草刈りを年三回実施する。

一回目は自治会行事

二回目は県土木による草刈

三回目は公園草刈時

口、曼珠沙華（ヒガン花）を堤防に植栽。

3. 宇曾川堤防及び河川敷のゴミ拾い。
イ、第一回を十一月十日（木）自治
会役員郷づくり委員共同にて実施。

第二回、四月頃に実施。
口、寺湯の魚つり場所に啓蒙の看板
を立てる。

4. 魚つり大会は、本年度は見送る。

5. 墓地については、新設の墓地整備と、
戦死者墓地の整備を行う。又、ゴミ
捨て場の通路を明確にする。

伝承事業部計画

昔から農村には、美しい自然と共に、
その中で多くの人々の手によって作ら
れ、守られ受け継がれてきた立派な文化、
財産があります。こういった共通の財産
を保全し、後生に伝えていきたい。

1. 若者に、美しい伝統文化としての
祭り及び行事を正しく伝える。（鉦
や太鼓のたたき方等。）

2. 子どもたちに、昔からの自然との
遊びや遊び道具の作り方を伝える。

3. 若い世代や子どもたちに昔の農業
を体験する場を与え、勤労の尊さ、
生産の喜びを味わってもらう。

4. 機会を得て、若い婦人層、住民に
料理講習など開催し、昔からの伝
統料理のよさを味わってもらう。
（家庭に伝わる漬物、味噌作り等）

（活動）

親子で手づくりおもちゃに挑戦！

郷づくり伝承事業部の活動として、

八月三日、エ、対象に、伝承事業部
長元持正三さんの指導で、昔から伝わる、
空気でつぼう、水でつぼう、竹笛などを
作り楽しんだ。子どもたちは、なれない
手つきながらも、父母の手をかりながら、
真剣にとり組み、手づくりの楽しさ、す
ばらしさを味わった。



—空気でつぼうづくり—



—水でつぼう遊び—

文化財保存 世代交流事業部計画

J A 生活学校「散策クラブ」一行六十余名は
七月十八日、肥田町を訪問されました。

肥田城にまつわる話を聞かれた後、町
内の史蹟を一巡された。殊に道巾広く、
整然とした町並みや、成宮為夫氏宅の座
敷の造り、崇徳寺の資料館等に関心され
た様子でした。しかし散策途中の会話の
中で、肥田住民にとって熟考すべき指摘
もいくつかあった。

1. 間伐材などを利用して「肥田見てあ
るき」にあるような個々の文化財に
ついての説明標識をたてる。

2. 「肥田町史」を補足する参考文献
（年表、小字名一覧、続古老の語り等）
を制作して各戸に配布する。

3. 若い世代（中、高校生も含めて）、婦人
層、年配層別に、資料に基づいた
「肥田町史」の講座を開設する。

4. 肥田町の未来について、世代間で意
見交流の機会を持つ。

土地開発 事業部計画

1. 都市計画道路の推進について

市に対して、自治会と同行して、道
路計画の説明を受ける。

2. 臨時総会を開催し、説明を聞く。

3. 地主に対し、説明会を開き同意を求める。

4. 都市計画道路建設に沿って、有効な土
地開発のレイアウトを考察する。

5. 住民の総意に基づき、土地利用のあり
方を検討する。

6. 市に対し、要望書を提出する。

広報ふれあい事業部計画

1. 広報発行の予定

第一回 四月 第二回 八月
第三回 十一月 第四回 二月

2. 子ども文庫ふれあい活動

1. 7月 文庫まつり（人形劇鑑賞）

2. 10月 本に親しむ会

3. 1月 お話を聞く会

4. 3月 文庫お別れ会

（活動）

文庫まつりを楽しむ！

七月二十日、本年

度子ども文庫まつり
を開催しました。広
報ふれあい事業部・

自治会文教部主催
で、今年は彦根ゼロ

の会のお母さんたち
九名で、人形劇ぐり
とぐら、ブラックシ

アターの珍しい人形
劇をみんなで観賞
し、しばしメルヘン

の世界にひたった。



人形げきを楽しむ

あいさつ

郷づくり計画もようやくまとめる事が
出来ました。明るく住みよい肥田を目指
して、各事業部において真剣に取り組ん
で頂いております。各団体の方々の御支
援を受け、又行政との連携を密にして、
計画実現のため頑張っております。より
よい明日の肥田を夢見て皆様の暖かい御
協力をお願い致します。

郷づくり委員会

委員長 藤野慶三郎

緑 風

現在は富山県の高岡に在る私にも、「肥田町史」が届けられた。亡き母が生まれ育った肥田に、私は小学校（当時は国民学校）二年生の時に、淡路島の洲本から移り住んだ。それから五十年以上が経過している。今も家屋や畑が残って居り、在所の皆さんのお世話になっている。にもかかわらず私の方は、誠に申し訳ないことながら、最近では盆暮れを中心に、仏壇やお墓参りに帰省するのが精一杯になってしまっている。

そんな関わりのある肥田が、町史の対象となるほど由緒深い町であるとは思ってもみなかった。宇曾川の改修事業の際に、遺跡のチェックが行われたことは承知していたし、崇徳寺が普通のお寺さんではないと耳にしたこともあった。しかし、正直のところ手前味噌の噂に過ぎないと思っていた。ところが「町史」を読んでみると、驚かされることばかりで、肥田に対する認識を完全に新たにしたのであった。

びっくりしたのは、ページを開いた途端、「白真弓 斐太の細江の・・・」という万葉集の歌が出てきた時である。万葉集の代表的歌人であった大判家が、当時の国府があった高岡伏木に国守として滞在したため、ここ高岡は、人形劇も見られる「万葉歴史館」とか日本最大の野外劇「越中万葉集夢幻譚」など、万葉に関わる場所や行事が非常に多い。それだけに、妙な因縁を覚え、ちよつと表現のしにくい感慨に打たれたのであった。

富山県高岡市在住

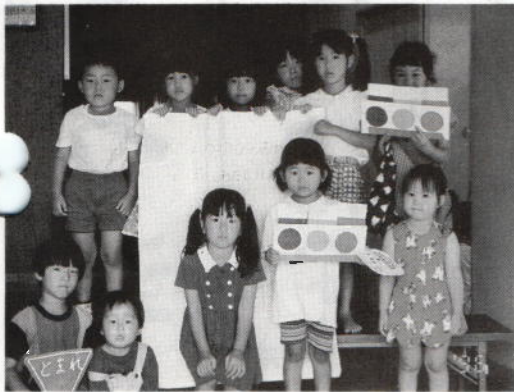
宮本 匡章

交通安全活動は 幼児期から！

カンガルークラブ 伊関 美喜

近年、幼い子ども達の交通事故が増えていることから、私たち肥田町でも、カンガルー交通安全活動を行いました。子どもたちに、簡単な交通ルールを説明して、実際に信号・横断歩道、とまれ等のあるコースを設け、順番にまわってもらった。赤信号で止まることは、小さな子どもでも、ちゃんとできますが、止まれでとまるということ、横断歩道で、手をあげて渡るということは、あまりできていないように思いました。

私自信も、ふだんは、ついつい車で・・・ということが多く、この休みを利用して、少し難しそうな、曲がり角車の多い通りなどを子どもといっしょに散歩しようかなあと思っています。



カンガルークラブの子どもたち

自治会だより

歩こう会のひふた切られる！

今年も七月十四日午前六時、自治会主催の歩こう会が開始された。子どもから老人まで多くの町民が参加し、宇曾川堤・ロマン遊歩道が人々にぎわった。八月末日まで、有志による歩こう会が続けられる。



歩こう会出発

お盆を迎えて、老人と子どもで
奉仕に汗を流す！

八月六日、午前八時より、福寿会恒例の奉仕作業が行われた。県道、遊歩道の空缶拾い、両神社、及び地藏堂境内の除草で、子ども会の参加もあって、お盆を前に、うるわしい美化作業であった。引続き老人と子どもたちで宇曾川ロマン遊歩道の花壇の除草にも汗を流した。ごくろうさまでした。

自治会からのお知らせ

☆たのしい夏祭り

八月十八日午後六時より

夏の風物詩であります恒例の夏祭りを開催致します。今年は、病原性大腸菌O157による食中毒の発生で、一部食べ物関係は自粛しましたが盛り沢山の催し物を用意しております。楽しくお過ごし下さい。

☆稲枝学区市民運動会が開催される

八月二十五日稲枝中学校グラウンドにおいて市民運動会が開催されます。町民皆様の応援をお願いします。

あどがき

広報第2号を発行できました。みなさまのご協力に感謝します。

本号は、特に郷づくり委員会の事業計画及び、活動についての特集号ともなりましたので、紙面を増やすことにしました。

今後ともいっそう充実した内容にとめたいと思います。
ご協力のほどお願いします。



あいせつ運動実施宣言

わたしたちは、みんな笑顔で声かけあて「ふれあいの輪」
を広げ、明るく、郷づくりをめざします。

◎あかるいきょうのスタートは「おはよう」のあいせつから。

◎すこやかなあしたをねがい「おやすみ」のあいせつで。

◎かんしゃのところで「ありがとう」のあいせつを。

(肥田町郷づくり委員会)